

エコアクション21 環境経営活動レポート

(58期版)

対象期間：令和元年10月～令和2年9月まで



(株)九州三共(統括会社)
(株)サンエージェンシー
発行日：令和2年12月25日

I 取組の対象組織・活動

組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社 九州三共(統括会社)
代表取締役社長 中島 敬二郎
株式会社 サンエージェンシー
代表取締役社長 中島 敬二郎

(2) 所在地

株式会社 九州三共 福岡県北九州市小倉北区神岳2丁目10番24号2F
株式会社 サンエージェンシー 福岡県北九州市小倉北区神岳2丁目11番13号

(3) 環境管理責任者及び担当者氏名並びに連絡先

環境管理責任者 総務部 行時 孝志
TEL 093-531-4881 FAX 093-531-4903 E-mail info@riviere.gr.jp
環境管理担当者 工務課 大角 真介
TEL 093-531-4881 FAX 093-531-4903 E-mail info@riviere.gr.jp

(4) 事業内容

(九州三共)
分譲マンション企画・販売 福岡県北九州市内
賃貸不動産管理 第一三共ビル、第二三共ビル

(サンエージェンシー)
分譲マンション管理・清掃 福岡県北九州市内

(5) 事業規模

分譲マンション販売・賃貸管理 17億円
不動産管理・清掃 1.2億円
従業員数 九州三共本社2階15人 販売センター6人
サンエージェンシー本社9人 清掃員17人

延べ床面積 805.41㎡

(6) 事業年度 10月～9月

認証・登録の対象範囲(全組織・全活動)

- | | |
|----------|--|
| ① 対象事業者名 | 株式会社 九州三共
株式会社 サンエージェンシー |
| ② 対象事業所 | 九州三共本社2階
サンエージェンシー事務所 |
| ③ 対象活動 | 九州三共 リヴィエールマンション販売
サンエージェンシー リヴィエールマンション管理組合委託清掃・管理 |

Ⅱ 環境経営方針

基本理念

株式会社九州三共グループは人と環境との調和を基本理念とし、それらを大切にする経営姿勢の基に企業活動を行い、環境への負荷低減を積極的に取り組みます。

行動理念

株式会社九州三共グループはマンション企画・販売・管理を中心とした全ての事業活動における環境への影響を理解し、低減するシステムを整備し、運用を行うことで環境関連法規等を遵守します。

また、以下の行動指針に基づき、環境目標および活動計画を定め、定期的な見直しを行い継続性のある活動を展開していきます。

行動指針

1. すべての事業活動において、積極的に「ムダ削除」をおこない、省エネルギー、省資源に努めます。

2. 二酸化炭素の排出を削減します。

節電を励行するとともに、空調の温度もエコ基準に設定を行い、効率的なエネルギー使用を推奨いたします。

アイドリングストップやエコドライブを実施し、ガソリンや軽油の使用量を削減します。

3. 事務所、現場にかかわらず節水に努めます。

4. 化学物質使用の製品に関してはエコ仕様製品の導入を行います。

5. 廃棄物の排出量を削減します。

ゴミの分別を徹底しておこない、リサイクル率を向上いたします。

書類の電子化を推進するなど、紙の使用量の削減をおこないます。

6. 住宅産業を通じて環境負荷の少ない原材料への転換を進めます。

7. 住宅産業を通じて省エネ機器の設置・販売を促進いたします。

8. 住宅産業を通じて環境に良い商品、サービスの採用を進めます。

9. グリーン購入を推進します。

10. 事業活動に関連する環境関連法規や条例等を遵守し、環境保全の向上に努めます。

11. この「環境経営方針」を全従業員に周知徹底するとともに、研修や教育を行い環境保全にむけた意識の向上に努め、環境負荷の低減に努めます。

12. 地域社会および、関連業者へ当社の環境活動レポートの配布を行い、当社の活動に関して認知を高めます。

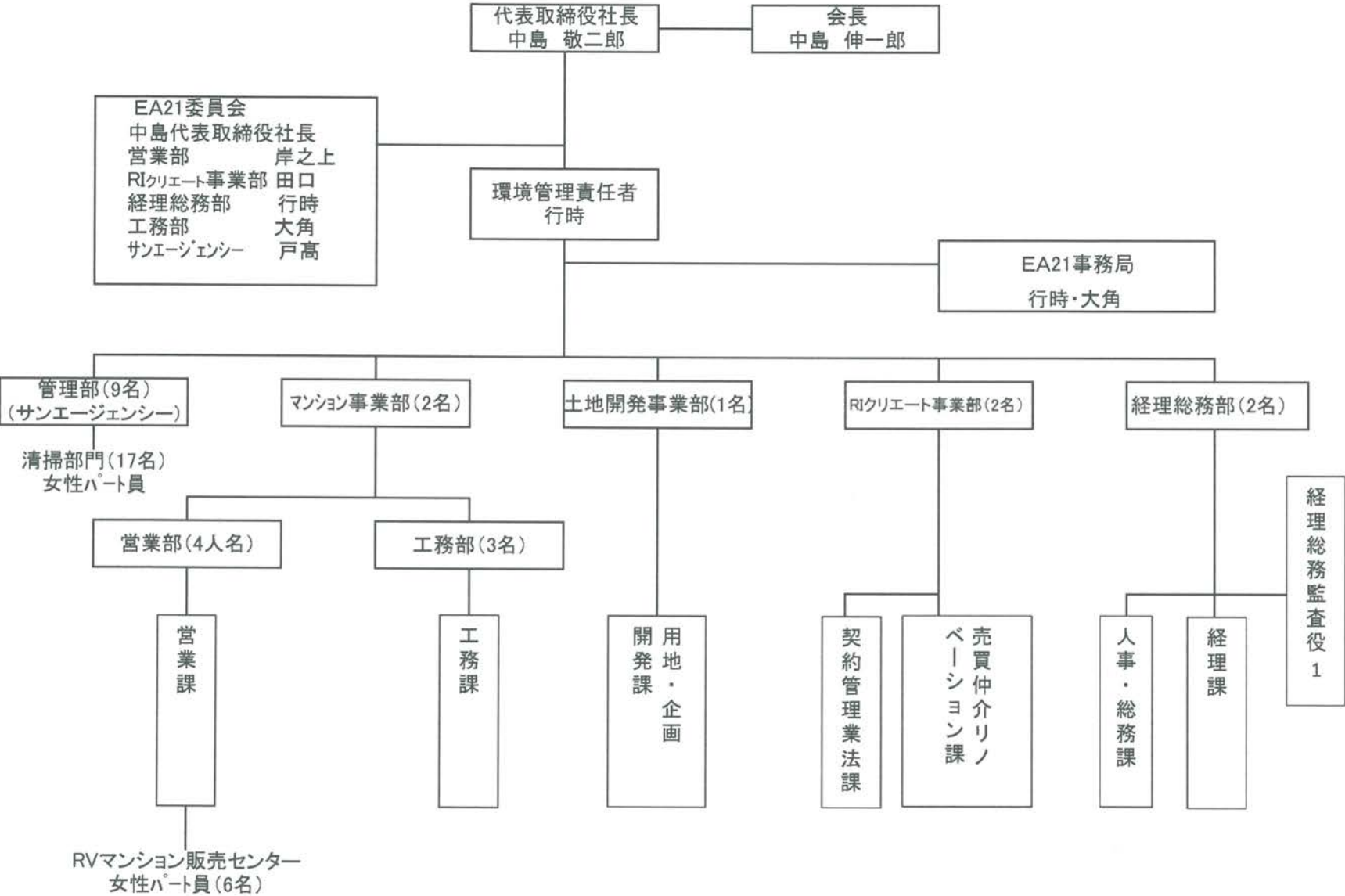
13. この環境経営方針を広く一般に公表を行います。

平成30年9月8日
株式会社 九州三共

代表取締役
中島 敬二郎

Ⅲ EA21実施体制

作成日	作成者
令和1年10月15日	行時



Ⅳ 58期及び中期環境経営目標

作成日	作成者
令和1年10月15日	行時

環境項目	単位	58期目標		59期目標		60期目標	
		総量	目標 (原単位)	総量	目標 (原単位)	総量	目標 (原単位)
二酸化炭素総排出量	kg-CO2	131,671		131,671		131,671	
電力使用量削減	kwh	71,806	11,967/棟	71,806	11,967/棟	71,806	11,967/棟
CO2排出量	kg-CO2	24,917	—	24,917	—	24,917	—
ガソリン使用量削減	L	45,956	10.7km/L	45,956	10.7km/L	45,956	10.7km/L
CO2排出量	kg-CO2	106,618	—	106,618	—	106,618	—
都市ガス使用量削減	m ³	63.0	31.5m ³	63.0	31.5m ³	63.0	31.5m ³
CO2排出量	kg-CO2	133	—	133	—	133	—
一般廃棄物排出量削減	kg	613	—	613	—	613	—
清掃排水量	L	1,603	8.3L/棟	1,603	8.3L/棟	1,603	8.3L/棟
住宅産業による省エネ機器の 設置・販売促進	戸	95	—	95	—	95	—
グリーン購入推進	束	10	—	10	—	10	—
再利用の推進	個	12	—	12	—	12	—

※電力排出係数は'18年度版の0.347を用いた ※2011年登録より削減に取り組み、中期環境経営目標は同一とした

V 第58期 主要な環境経営活動実施計画

作成日	作成者
令和2年10月15日	行時

	活動項目	活動計画			
		10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
電気使用量の削減	1 冷暖房温度の適正管理	← 実行 →	← 実行 →	← 実行 →	← 実行 →
	2 昼休みの消灯	← 実行 →	← 実行 →	← 実行 →	← 実行 →
	3 残業時の不要な照明の消灯	← 実行 →	← 実行 →	← 実行 →	← 実行 →
	4 長時間席を離れる時、パソコン等OA機器の電源OFF	← 実行 →	← 実行 →	← 実行 →	← 実行 →
	5 OA機器はエネルギー効率の高い機器を導入する	← 逐次導入 →	← 逐次導入 →	← 逐次導入 →	← 逐次導入 →
	6 照明器具の定期的な清掃交換等適切な管理を行う	← 実行 →	← 実行 →	← 実行 →	← 実行 →
	7 夜間、休日はパソコン、プリンター等の主電源を切っている	← 実行 →	← 実行 →	← 実行 →	← 実行 →
	8 使用していない部屋の空調は停止している	← 実行 →	← 実行 →	← 実行 →	← 実行 →
	9 ブラインドやカーテンの利用等により熱の出入りを調節している	← 実行 →	← 実行 →	← 実行 →	← 実行 →
	10 空調機フィルターの定期的な清掃	← 実行 →	← 実行 →	← 実行 →	← 実行 →
	11 冷暖房終了時間前に熱源機を停止し、装置内熱の有効利用	← 実行 →	← 実行 →	← 実行 →	← 実行 →
ガソリン使用量の削減	1 省エネドライブの励行	← 実行 →	← 実行 →	← 実行 →	← 実行 →
	2 配車計画の合理化	← 実行 →	← 実行 →	← 実行 →	← 実行 →
	3 アイドリングストップの励行	← 実行 →	← 実行 →	← 実行 →	← 実行 →
	4 タイヤの空気圧を定期的に確認	← 実行 →	← 実行 →	← 実行 →	← 実行 →
	5 共用自転車の導入	← 実行 →	← 実行 →	← 実行 →	← 実行 →
都市ガスの削減	1 給湯器等の効率使用	← 実行 →	← 実行 →	← 実行 →	← 実行 →

	活動項目	活動計画			
		10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
グリーン購入活動	1 製品購入の際できるだけHFC、PFC、SF6を使用しない製品の購入配慮	← 逐次検討しながら実行 →	← 逐次検討しながら実行 →	← 逐次検討しながら実行 →	← 逐次検討しながら実行 →
	2 環境ラベル認定等製品の優先的購入	← 逐次検討しながら実行 →	← 逐次検討しながら実行 →	← 逐次検討しながら実行 →	← 逐次検討しながら実行 →
	3 省エネルギー基準適合製品を優先的に購入	← 逐次検討しながら実行 →	← 逐次検討しながら実行 →	← 逐次検討しながら実行 →	← 逐次検討しながら実行 →
	4 再生材料から作られた製品を優先的に購入	← 逐次検討しながら実行 →	← 逐次検討しながら実行 →	← 逐次検討しながら実行 →	← 逐次検討しながら実行 →
省エネ商品の提供	1 節水型の製品、水洗トイレを積極的に導入	← 実行 →	← 実行 →	← 実行 →	← 実行 →
	2 製品の長寿命化を指向している	← 逐次検討しながら実行 →	← 逐次検討しながら実行 →	← 逐次検討しながら実行 →	← 逐次検討しながら実行 →
	3 製品の使用過程でのエネルギー削減を指向している	← 逐次検討しながら実行 →	← 逐次検討しながら実行 →	← 逐次検討しながら実行 →	← 逐次検討しながら実行 →
	4 有害性の化学物質の含有量を少なくするよう指向している	← 実行 →	← 実行 →	← 実行 →	← 実行 →
	5 太陽光発電設備の導入	← 逐次検討しながら実行 →	← 逐次検討しながら実行 →	← 逐次検討しながら実行 →	← 逐次検討しながら実行 →
	6 太陽熱温水器等設備の導入	← 逐次検討しながら実行 →	← 逐次検討しながら実行 →	← 逐次検討しながら実行 →	← 逐次検討しながら実行 →
	7 建物の老朽化や運用の診断を行い、改善は環境保全設備の見直しを行っている	← 実行 →	← 実行 →	← 実行 →	← 実行 →
	8 敷地内、壁面、屋上等の緑化	← 逐次検討しながら実行 →	← 逐次検討しながら実行 →	← 逐次検討しながら実行 →	← 逐次検討しながら実行 →
	9 環境負荷の少ない建築材の利用依頼	← 逐次検討しながら実行 →	← 逐次検討しながら実行 →	← 逐次検討しながら実行 →	← 逐次検討しながら実行 →

	活動項目	活動計画			
		10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
環境教育・活動について	1 HP上での環境に関する情報提供	← 検討 →	← 実行 →	← 実行 →	← 実行 →
	2 事業活動に伴う環境負荷の主要な目標および環境担当者の連絡先の公表	← 検討 →	← 実行 →	← 実行 →	← 実行 →
	3 環境に関する基金・団体支援等の協力支援	← 実行 →	← 実行 →	← 実行 →	← 実行 →
	4 エコマーク及び、エコ宣言等を製品やパンフレットに表示している	← 実行 →	← 実行 →	← 実行 →	← 実行 →
	5 外部から製品の環境負荷に関するデータ提供依頼の協力	← 逐次検討しながら実行 →	← 逐次検討しながら実行 →	← 逐次検討しながら実行 →	← 逐次検討しながら実行 →
	6 環境関連の基金等へのマッチングギフトを実施	← 逐次検討しながら実行 →	← 逐次検討しながら実行 →	← 逐次検討しながら実行 →	← 逐次検討しながら実行 →
	7 環境に関する基金・団体支援等の協力支援	← 実行 →	← 実行 →	← 実行 →	← 実行 →

作成日	作成者
令和2年10月15日	行時

Ⅵ目標の実績

		58期目標		58期実績		
		単位	総量	目標 (原単位)	総量	(原単位) 目標達成率
二酸化炭素総排出量		kg-CO2	131,671		123,449	
	電力使用量削減	kwh	71,806	11,967/棟	78,735	13,122/棟 91%
	CO2排出量	kg-CO2	24,917	—	27,321	—
	ガソリン使用量削減	L	45,956	10.7km/L	41,377	11.1km/L 111%
	CO2排出量	kg-CO2	106,618	—	95,995	—
	都市ガス使用量削減	m³	63.0	31.5m³	63.0	31.5m³ 100%
	CO2排出量	kg-CO2	133	—	133	—
清掃排水量		L	1,603	8.3L/棟	424	2.1L/棟 378%
一般廃棄物排出量削減		kg	613	—	613	— 100%
住宅産業による省エネ機器の設置・販売促進		戸	95	—	50	— 53%
グリーン購入推進		束	10	—	10	— 100%
再利用の推進		個	12	—	12	— 100%

※電力排出係数は'18年度版の0.347を用いた

作成日	作成者
令和2年10月15日	行時

VII 環境経営目標取組結果とその評価

二酸化炭素排出量の削減

目標を達成しました。

実績において電力使用量では9.6%増でしたが、ガソリン使用量、清掃排水量削減は目標を達成しました。

電気使用量の削減

目標に対して91%の結果となりました。

自社建築の日明モデルルーム販売センターの本格稼働により総量増となりました。

冷暖房の過剰な運転使用が抑え、エアコンの使用効率を上げるため

夏季には、室外機への日よけの設置、かつエアコンスイッチON・OFFを

記録することで全社員のエアコン利用における

意識向上も図りました。

今後も事業計画に沿い、節電を心がけ目標達成へ向けて使用量削減を目指します。

【室外機への日よけの設置】



作成日	作成者
令和2年10月15日	行時

電気使用量の削減

【エアコンスイッチON・OFFの記録】

2月 事務所内エアコン使用管理表

日付	ON時間	電源	OFF時間	電源
1	9:30	電	17:00	柳
2	9:30	電	19:00	電
3	10:00	柳	17:00	柳
4	10:00	柳	17:00	柳
5	2台 9:40	電	17:00	電
6	" 10:00	柳	17:00	柳
7	" 10:00	柳	17:00	柳
8	" 10:00	電	17:00	電
9	3台 9:30	電	17:00	柳
10	2台 10:00	電	17:00	電
11	3台 9:30	電	17:00	電
12	2台 10:00	柳	17:00	柳
13	" 10:00	柳	17:00	柳
14	" 10:00	電	17:00	電
15	" 9:30	電	18:00	電
16	1台 15:00 2台 10:00	電	17:00	電
17	2台 10:00	柳	17:00	柳
18	2台 10:00	柳	17:00	柳
19	2台 10:00	柳	17:00	柳
20	2台 10:00	電	17:00	電
21	2台 10:00	電	17:00	電
22	" 9:30	電	17:00	柳
23	2台 9:30	電	17:00	柳
24	2台 9:30	電	17:00	電
25	2台 10:00	柳	17:00	柳
26	2台 10:00	電	17:00	電
27	" 10:00	柳	17:00	柳
28	" 10:00	電	17:00	電
29	" 9:30	電	17:00	電
30				

作成日	作成者
令和2年10月15日	行時

ガソリン使用量の削減

総量、二酸化炭素排出量とも目標を達成できました。
 取組み目標の燃費については目標を達成し、11km/L超となりました。
 全員による使用距離・給油量の記録を基に毎月の燃費向上率を発表・掲示を行い
 全員がエコドライブ10をベースに取組む様、声掛けしつつ
 年間を通じて意識の継続に努めました。

運転記録集計表

2. 9

は3ヶ月連続燃費改善	は4ヶ月連続燃費改善	は4ヶ月連続燃費悪化
は2ヶ月連続燃費改善	は2ヶ月連続燃費悪化	は3ヶ月連続燃費悪化

	合計	走行距離	ガソリン量	燃費	前月燃費	改善率	順位	前順
桑原	1,940	2,188	161.00	12.50	5.68	220.1%	1	22
波多野次長	1,955	2,993	160.21	19.40	14.44	134.3%	2	18
福富	819	830	28.00	13.29	10.27	129.4%	3	15
一之瀬	737	1,796	149.63	9.94	8.41	118.2%	4	11
本河	1,307	2,450	136.90	19.23	16.46	116.8%	5	20
大角主任	1,657	2,226	143.13	14.34	12.51	114.6%	6	19
坂田GMG	387	644	73.74	8.89	8.13	109.3%	7	13
三浦主任	693	1,446	80.73	18.00	16.80	107.1%	8	16
米田次長	42	771	24.15	9.48	9.00	105.3%	9	9
川原主任	836	1,327	136.61	7.55	7.18	105.2%	10	21
田口次長	1,327	1,813	242.00	7.48	7.15	104.6%	11	8
岸之上次長	1,757	1,757	201.85	8.90	8.54	104.2%	12	14
戸高部長	753	1,079	173.68	6.02	5.87	102.6%	13	17
中村課長	1,377	1,934	124.00	15.38	15.23	101.0%	14	6
緒方	1,161	1,271	209.79	6.79	6.89	98.5%	15	10
幸地課長	265	1,164	145.71	8.05	8.65	93.1%	16	12
松本	1,721	1,959	168.00	10.82	11.82	91.5%	17	7
会長	153	732	32.00	13.34	15.03	88.8%	18	4
江頭主任	963	1,079	213.77	5.35	6.05	88.4%	19	3
行時課長	818	991	129.23	10.04	11.61	86.5%	20	5
山本	936	1,056	91.00	8.05	10.20	78.9%	20	2
社長	960	1,456	169.06	8.56	12.67	67.6%	21	1
笹島係長	-	-	-	-	-	#VALUE!	-	-

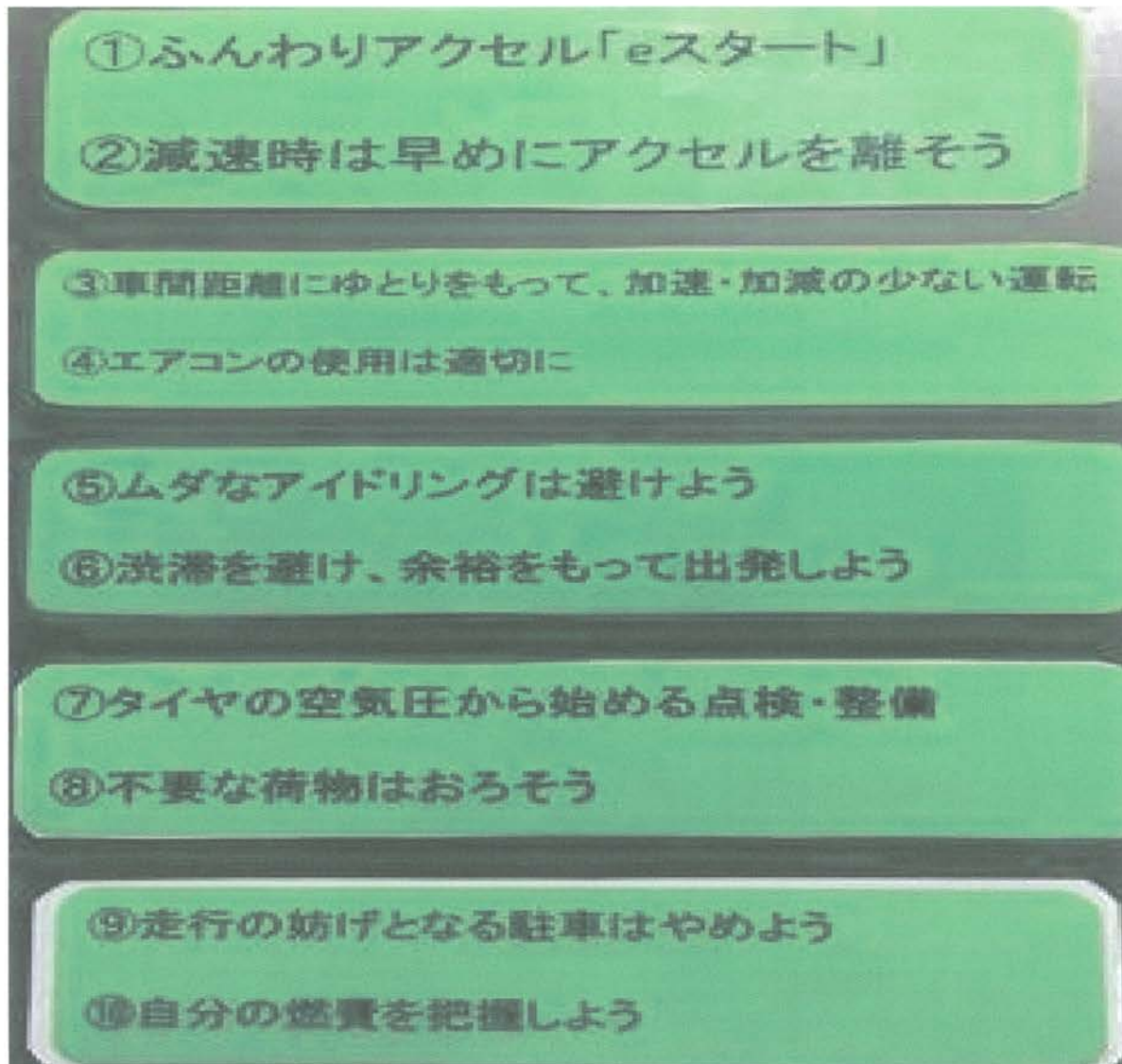
計	22,564.00	32,962.00	2,994.19	10.97	10.39	105.6%	-	-
1人当たり	1,025.64	1,498.27	136.10	-	-	-	-	-
前月比	101.7%	103.0%	90.4%	-	-	-	-	-
合計	1,008.70	1,455.17	150.52					

作成日	作成者
令和2年10月15日	行時

ガソリン使用量の削減

【自作ステッカーを全車へ配布】

運転前にエコドライブの再認識と 意識向上に役立てた



都市ガス使用量の削減

総量、二酸化炭素排出量とも目標を達成できました。

新型コロナ対策の手洗い等、ガス利用の湯沸かし器の利用に加え

シャワーの利用がありましたが、問題ありませんでした。

従来よりお茶などに関してはウォーターサーバーを導入しているため、利用量は抑えられています。

作成日	作成者
令和2年10月15日	行時

清掃排水量の削減

洗剤等、防汚剤に加え剥離剤を利用していますが、より良い仕上がりを求められる中高圧洗浄機を導入・活用しました。その結果使用量の減となりました。
これまで同様、清掃の指導を行なうとともに利用量の低減に努めます。

一般廃棄物排出量の削減

例年同様に印刷・コピーにおいて可能な場合、排出量削減のため裏紙を利用しました。
また、毎週火曜日全員による室内の整理整頓を実施しています。
なお、紙媒体の低減を目指し一部書類のデータ化を推進しています。

省エネ機器の設置・販売促進

2つの物件において高効率給湯器を標準導入、設置しました。
既存の管理受託マンション管理組合へ提案を行い、マンション3棟の
共用部電灯を蛍光灯からLED灯へ計276個、交換しました。

グリーン購入の推進

グリーン商品購入選定を行いコピー用紙・文具等のエコ商品購入を推進しました。

再利用の推進

モデルルーム撤去の際、可能な家具・備品等を引き上げ、次物件モデルルームで
再利用しました。事務所内の印刷機インクタンクはリサイクルのためメーカーへ
返却しました。

VIII 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

まず、自社で法律の順守状況をチェックした結果、違反はありませんでした。
また過去3年間に法令違反および公的機関からの指摘はありませんでした。
また、同じく近隣等からの要求、告訴はありませんでした。
引き続き環境関連法規遵守の維持に努めます。

IX 代表者による全体評価と見直しの結果

環境方針の誓約は実行されている。
具体的な取組みについて日々の記録を実践の上、月1回の会議を行い、現状の報告と
今後の課題についての話し合いを行い改善や提案についての話し合いを行い実行している。
また、決めたルールに基づいて社員一同が活動を行っている。
環境活動の取組は社員一同へ十分に浸透し、期中での対応も見られるようになった。
環境経営に係る取組みとしての使用広告における紙媒体重量の集計は
新型コロナウィルス感染症対応にて媒体自体の再検討となり中断した。
今期初め、エコアクション取組みを継続してきた結果、資金調達において
私募債発行の際、金融機関より環境私募債扱いとなり、係る費用の優遇を
受けることができた事は特筆に値するものであった。
59期は新型コロナ対策も考慮しつつ、新ガイドラインに沿った中で、エコアクションと
コストダウンを両輪とし現状に甘んじることなく邁進したい。